



きっずるーむだより

第 31 号

令和 5 年 5 月 10 日発行

社会福祉法人ゆうゆう

きっずるーむ県庁別館

屋間は汗ばむくらい暑い日が増えてきました。楓の庭の草木はおひさまの光を受け、青々と茂っています。子どもたちもそんな生き生きとした草木のように、元気いっぱい戸外で体を動かしています。暑さ対策やこまめな水分補給を大切に、戸外遊びやお散歩を楽しみたいです。



ルールのある遊び



Aくん(4歳11ヶ月)が「かくれんぼをしようよ。」と保育者にリクエスト。

そこに「私もやりたい!」とBちゃん(4歳6ヶ月)が仲間入りです。

Bちゃんが数を数える間、Aくんは素早く身を隠します。オニに見つかるまでのドキドキ感は何とも言えません。二人はオニ役と見つける役を交代しながら何度も楽しんでいました。

初めは保育者も遊びに入り「誰がオニをする?」と聞いていましたが、慣れてくると「私がオニをする!」とか「僕が隠れるね。」と言いながら自分達で遊びを進めていきました。

二人の姿から見る発達

おおむね4歳ごろから役割を交代しながら楽しめるようになると言われていて、この頃には協調性も育ってきます。そして、子どもたちは「おにごっこ」や「かくれんぼ」等、ルールのある遊びを通じて「順番」→「役割交代(かくれんぼで言うとオニ役と見つける役を交互に行う事)」→「ルールの理解」ができるようになっていきます。そのため、一人で遊ぶよりみんなで遊ぶ方が楽しい!! と思える時期でもあります。

「自分とは異なる価値観や考え方を持つ人たちと協力し、同じ目標に向かって行動できる能力=協調性」

遊びを通して垣間見るそんな子どもたちの姿をこれからも大切に見守り育てていきたいと思えます。

新年度が始まり、あっという間に1カ月が過ぎました。ゴールデンウィークも終わり、新しい生活にも慣れた頃ではないでしょうか。これから更に暑い日が増えてきます。生活リズムを整えながら元気に過ごしていきたいと思えます。

